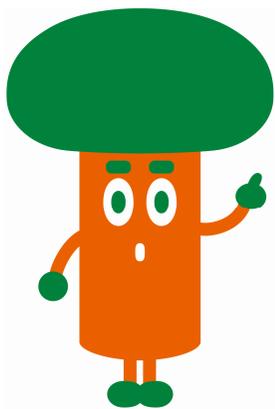


# 2024年度 第2四半期運用実績（速報）



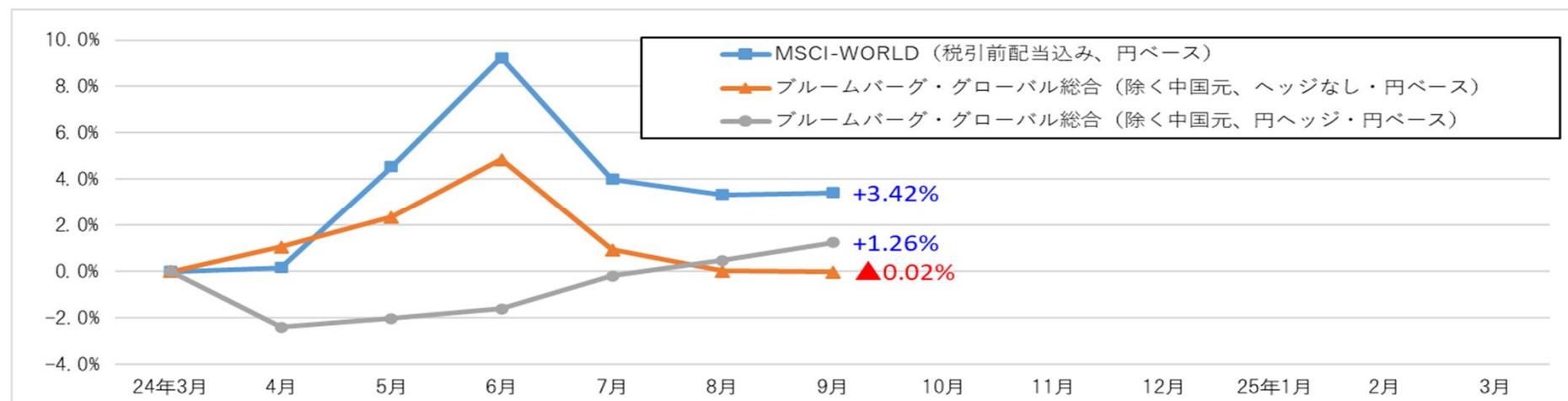
国民年金基金連合会

# 1. 2024年度第2四半期の市場環境（1）

## 【参考指標】

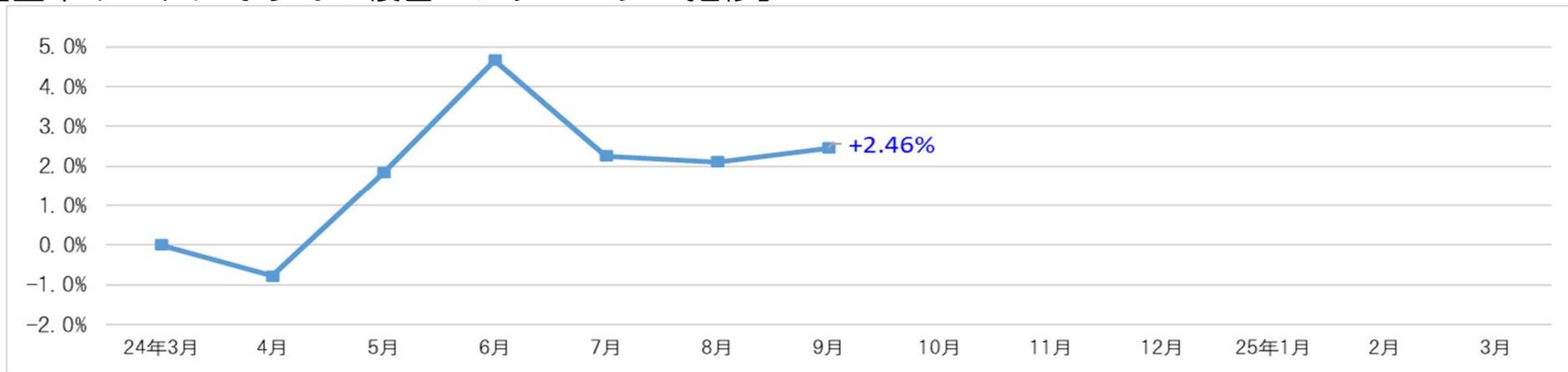
		2024年3月末	2024年6月末	2024年7月末	2024年8月末	2024年9月末
国内債券	10年国債利回り（％）	0.73	1.05	1.05	0.89	0.86
	日経平均（円）	40,369.44	39,583.08	39,101.82	38,647.75	37,919.55
国内株式	TOPIX（ポイント）	2,768.62	2,809.63	2,794.26	2,712.63	2,645.94
	米10年国債利回り（％）	4.20	4.40	4.03	3.90	3.78
外国債券	独10年国債利回り（％）	2.30	2.50	2.30	2.30	2.12
	NYダウ（米ドル）	39,807.37	39,118.86	40,842.79	41,563.08	42,330.15
外国株式	S&P 500（ポイント）	5,254.35	5,460.48	5,522.30	5,648.40	5,762.48
	独DAX（ポイント）	18,492.49	18,235.45	18,508.65	18,906.92	19,324.93
	為替	円/米ドル（円）	151.35	160.86	150.46	145.61
	円/ユーロ（円）	163.45	172.40	162.81	161.17	159.64

## 【基本ポートフォリオの資産クラス別ベンチマークの推移】



# 1. 2024年度第2四半期の市場環境（2）

## 【基本ポートフォリオの複合ベンチマークの推移】



### <基本ポートフォリオのベンチマーク及び構成割合の基準値>

- ・グローバル債券（円ヘッジ）：ブルームバーグ・グローバル総合（除く中国元、円ヘッジ・円ベース）：39%
- ・グローバル債券（ヘッジなし）：ブルームバーグ・グローバル総合（除く中国元、ヘッジなし・円ベース）：6%
- ・グローバル株式：MSCI-WORLD（税引前配当込み、円ベース）：55%

当四半期における基本ポートフォリオの複合ベンチマークは、マイナス2.11%となりました。通期では、プラス2.46%となりました。

主要国の株式市場は、国内は企業業績の改善や円安の進行を背景に、日経平均株価は史上最高値を更新しましたが、その後、円高・米ドル安の進行が嫌気され下落しました。米国では、出遅れ感の強い景気敏感株が牽引し、堅調に推移しました。欧州のドイツでは、域内の利下げ観測の高まりが下支えとなり上昇しました。債券市場は、米国では、経済指標の悪化等を背景に大幅な利下げ観測が高まり、長期金利は低下基調で推移しました。欧州では、ECB（欧州中央銀行）の追加利下げ観測が高まり、長期金利は低下しました。外国為替市場は、日銀による早期利上げ観測や米国の早期大幅利下げ観測が高まり、円高・米ドル安が進行しました。

## 2. 2024年度第2四半期の運用状況（運用実績）

### 【運用実績】

#### （1）収益率（修正総合利回り）

	第1Q	7月	8月	9月	第2Q	通期
収益率	4.64%	-2.44%	-0.12%	0.13%	-2.44%	2.10%

#### （2）時間加重収益率

	第1Q	7月	8月	9月	第2Q		
					収益率	ベンチマーク	超過収益率
グローバル債券 （円ヘッジ）	-1.47%	1.27%	0.54%	0.70%	2.52%	2.91%	-0.39%
グローバル債券 （ヘッジなし）	5.70%	-4.23%	-1.20%	-0.37%	-5.72%	-4.65%	-1.07%
グローバル株式	8.66%	-4.49%	-0.35%	-0.20%	-5.01%	-5.33%	0.32%

※ベンチマークは、基本ポートフォリオにおける資産クラス別ベンチマークを指す（P2をご参照）

当四半期の修正総合利回りは、マイナス2.44%となりました。通期では、プラス2.10%となりました。  
また、当四半期の資産クラス別の時間加重収益率は、グローバル債券（円ヘッジ）がプラス2.52%、グローバル債券（ヘッジなし）がマイナス5.72%、グローバル株式がマイナス5.01%となりました。

### 3. 2024年度第2四半期の運用状況（資産構成割合）

#### 【資産構成割合】

	資産構成割合 (基準値)	許容乖離幅 (上限)	許容乖離幅 (下限)	2024年9月末		※ 乖離幅
				残高 (億円)	(構成比)	
グローバル債券 (円ヘッジ)	39%	5.0%	-5.0%	20,327	37.9%	-1.1%
グローバル債券 (ヘッジなし)	6%	5.0%	-5.0%	3,174	5.9%	-0.1%
グローバル株式	55%	5.0%	-5.0%	30,138	56.2%	1.2%
全体	100%			53,639	100.0%	

※乖離幅は、資産構成割合（基準値）からの乖離幅

当四半期は、グローバル債券（円ヘッジ）が上昇した一方で、グローバル債券（ヘッジなし）及びグローバル株式は下落しました。そのような状況を受け、2024年9月末の積立金残高は、5兆3,639億円となりました。

また、2024年9月末の資産構成割合は、グローバル債券（円ヘッジ）が37.9%、グローバル債券（ヘッジなし）が5.9%、グローバル株式が56.2%となりました。

なお、当四半期中、各資産クラスの乖離幅が、許容乖離幅の上下限值を超えることはなかったことから、資産間リバランスは実施していません。

## 4. その他

### 【用語集】

#### ◆ 修正総合利回り ◆

修正総合利回りは、簿価ベースである分母の元本平均残高に未収収益、評価損益を加え、総合利回りよりさらに時価ベースに近づけようとしたものである。

$$\text{修正総合利回り} = \frac{(\text{当期実現損益} + \text{当期末未収収益増減額} + \text{当期評価損益増減額})}{(\text{元本平均残高} + \text{前期末未収収益} + \text{前期末評価損益})} \times 100 (\%)$$

(ご参考)

$$\text{総合利回り} = (\text{当期実現損益} + \text{当期末未収収益増減額} + \text{当期評価損益増減額}) \div (\text{元本平均残高}) \times 100 (\%)$$

#### ◆ 時間加重収益率 ◆

運用期間中に発生したキャッシュフローの影響を排除した時価ベースの収益率。最も厳密に計算する場合、キャッシュフローが発生するたびに期間(時間)を区切り、その分割された単位期間ごとに収益率を算出した上で、それらの収益率を掛け合わせ(加重)、年当たりの複利に換算する。

#### ◆ 複合ベンチマーク ◆

複数資産に投資を行うポートフォリオ全体の運用成果の基本的な評価基準となる収益率。資産構成割合にそれぞれの資産のベンチマーク収益率を加重平均して求める。一般的に、ポートフォリオ全体のベンチマーク(運用指標)として使用されている。